

育種情報の高度化によるおいしい牛肉の開発

肉用牛の生産、牛肉の流通、消費では、牛肉自給率を増加させ、安全でおいしい牛肉を供給し、輸入牛肉と差別化することが課題。

和牛肉の特徴、おいしさの定量化技術を用いておいしさの指標を開発する。これを育種へフィードバックしておいしい牛肉を開発する。



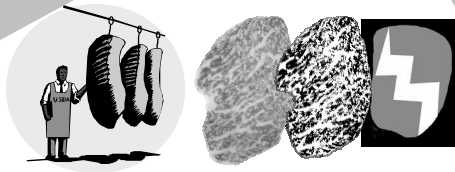
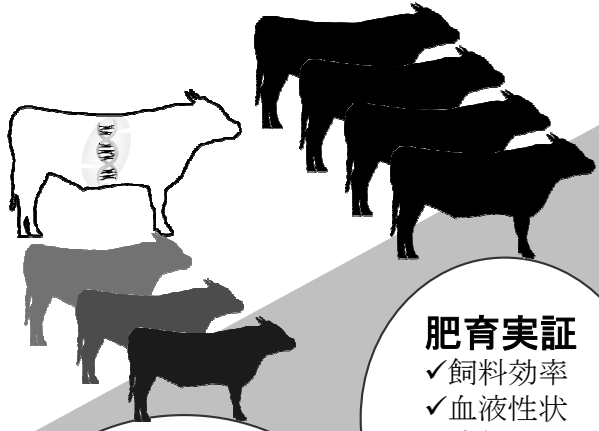
1. おいしさの指標
2. 育種への応用
3. おいしい牛肉の開発

おいしさの指標化
✓おいしさの指標の開発
✓おいしさ指標の簡易測定

遺伝子型効果の検証
✓枝肉形質調査
✓牛脂肪の融点
✓牛脂肪の脂肪酸組成
✓牛肉のアミノ酸組成
✓しもふり状態の数値化
✓牛肉のおいしさの数値化

肥育実証
✓飼料効率
✓血液性状
✓遺伝子の発現

育種情報を高度利用した和牛のDNAマーカーアシスト選抜
✓DNAマーカー
BTA2, BTA24
SCD



期待される波及効果

おいしい和牛の確立
おいしい牛肉供給
肉用牛振興

